



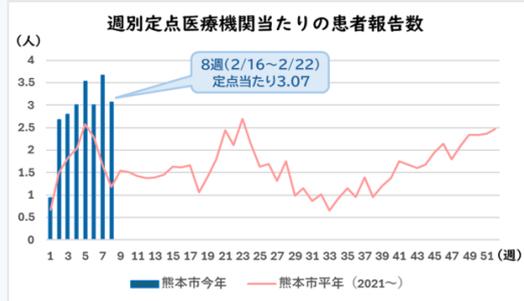
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

A群レンサ球菌という細菌が、のど（上気道）に感染して発症する咽頭炎です。冬季と、春から初夏の、2つの流行のピークがあります。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭、学校、保育施設などでの集団感染が多いです。

潜伏期間	2～5日
感染経路	①飛沫感染…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことにより感染。 ②接触感染…細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる感染。
症状	突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感、嘔吐といった症状がみられます。 重症化して発症する猩紅熱では、特徴的な紅斑やいちご舌などがみられます。 また、急性糸球体腎炎やリウマチ熱などの合併症を引き起こすことがあります。

● 予防対策 ●

患者との濃厚接触を避けることが重要です。手洗い、うがい、手指消毒、咳エチケットなど一般的な感染対策を徹底しましょう。



定点種別	疾患名	状況	7週(2/9~2/15)		8週(2/16~2/22)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	○	1232	51.33	899	37.46
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		23	0.96	17	0.71
	急性呼吸器感染症(ARI)		2625	109.38	2216	92.33
小児科	RSウイルス感染症		9	0.60	11	0.73
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	4	0.27	10	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	55	3.67	46	3.07
	感染性胃腸炎	-	98	6.53	93	6.20
	水痘(みずぼうそう)	-	4	0.27	6	0.40
	手足口病	-	5	0.33	6	0.40
	伝染性紅斑(りんご病)	-	12	0.80	9	0.60
	突発性発しん		5	0.33	8	0.53
	ヘルパンギーナ	-	1	0.07	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	3	0.60	4	0.80
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		1	0.20	2	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	1	0.20

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし